

特集《対談》— 林業の担い手から 現場の声を聞きました—



柏崎市議会だより

ギカイの



No.192 令和5(2023)年5月5日

今回の表紙

林業の未来を担う 森林組合若手職員の皆さん

厳しい現場でも、揃いのユニフォームで奮闘中。
(場所 柏崎地域森林組合)

もくじ

- 特集《対談 柏崎地域森林組合》 P 2・3
- 新年度予算が決まりました、
賛否一覽 P 4～8
- 4年間を振り返って P 9
- こんなことが決まりました P 10・11
- 常任委員会審査報告 P 12・13
- 一般質問 P 14～17
- ギカイのうごき P 18・19
- 6月定例会議日程 ほか P 20

<https://www.city.kashiwazaki.lg.jp/shigikai/>

柏崎市議会議員は、5月1日に新しい任期を迎えました。議員名・役職は改選前の内容です。



特集

《対談》
柏崎地域森林組合

林業を通して環境問題に向き合いたい

【森林づくり】は【人づくり】から

— 社会に役立つ人材を目指す —



← 高所作業(特殊伐採)

↖ 間伐作業(伐倒) ↗

↙ 伐採作業(玉切り) ↘

↙ クロマツ植栽作業 ↘



← 松への樹幹注入作業(松枯れ予防)

就職のきっかけは？

- 大学の講義で、林業は環境に寄与するという印象を持ちました。いろいろな選択肢がある中で、地元で頑張りたいと柏崎に戻ってきました。
- 環境問題に関心があり、自然に関わる仕事がしたいと感じていました。ボランティアで森林の保全活動などもやってみて、転職を決めました。
- Iターンの支援制度があったので、柏崎に決めました。

林業はどんな仕事？

- 現場で先輩のてこ（手伝い）をしながら仕事を覚えていきます。保安林・市有林の整備、松くい虫被害の調査、測量などの現場が多いです。
- 12月の豪雪で枝が折れた北条地区にある中村の大スギなど、特殊伐採の現場にも入らせてもらいました。
- 重機はまだ扱えませんが、玉切りや倒木の作業ではチェーンソーを使っています。

林業の現場ならではの体験は？

- スズメバチに囲まれたとき、先輩の言う通りにじっと動かずに堪えました。刺されずに済みましたが、フェイスガードにハチが止まってとても怖かったです。
- 米山の山頂付近でカモシカを見かけてうれしかったです。
- 間伐や枝打ち、下草刈りなどの作業を終えると、林が明るくなって達成感を感じます。
- 狙ったところにピンポイントで木を倒せたときは、すごく気持ちがいいです。

今後の目標などは？

- 林業にはさまざまな仕事があると知りました。木を切る技術の向上はもちろん、どんな仕事でも任せてもらえるようにがんばりたいです。
- 重機の操作や図面の製作なども覚えて、自分が現場をリードできるようになりたいです。
- 土砂災害の防止など、将来的には林業を通して社会や環境問題に貢献できると感じられたらいいと思います。
- 雰囲気の良い職場のおかげで成長させてもらっていると感じます。次に入ってくる人たちのためにも、皆さんと一緒にいい組織をつくっていきたいです。

議会に期待することは？

- 若手消防団員の特集をきっかけに、市議会だよりを読んでみようと思いました。いろんな世代や職種の人たちとの相互性があるといいと思います。
- 2年間の1ターン支援はありがたかったので継続してほしいです。移住者が早く地域になじめるような対策もあるといいと思います。



ありがとうございました。

取材 三宮直人、星野幸彦
重野正毅、樋口良子



柏崎地域森林組合
代表理事組合長 **石塚 正好さん**

新年度予算が決まりました

～ 令和5(2023)年度予算案を全て可決 ～

● 合計当初予算額

813億5922万4000円

内
訳

● 一般会計予算 **472億円**

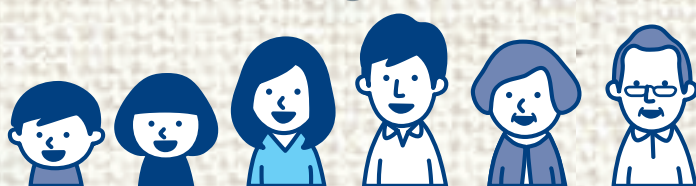
● 特別会計予算
195億3052万6000円

● 公営企業会計予算
146億2869万8000円

3月1日の本会議において、令和5(2023)年度当初予算案と施政方針に対して7つの会派が代表質問を行いました。主な質問項目は、5ページの通りです。

予算決算常任委員会での審査については、6・7ページをご覧ください。

3月23日の本会議において、一般会計予算案に対して5人の議員が討論を行いました。採決の結果、一般会計予算は賛成多数で、その他の予算は全会一致で可決されました。議員の賛否状況は7ページ、討論の要旨は8ページをご覧ください。



区 分		令和5(2023)年度	令和4(2022)年度	増減率
一般会計		472億円	481億円	△1.9%
特別会計	国民健康保険事業	89億5450万7千円	88億691万4千円	1.7%
	後期高齢者医療	10億7179万1千円	10億4499万3千円	2.6%
	介護保険	94億3917万7千円	94億3575万9千円	0.0%
	土地取得事業	5693万4千円	1億289万9千円	△44.7%
	墓園事業	811万7千円	863万3千円	△6.0%
公営企業会計	水道事業	58億142万9千円	63億3437万7千円	△8.4%
	下水道事業	88億2726万9千円	87億2497万4千円	1.2%

代表質問で問う

【市長の施政方針と令和5(2023)年度予算】

民友



佐藤和典

- ① 少子化対策は喫緊の課題
- ② 賃上げによる中小企業の振興
- ③ 海底直流送電の柏崎陸揚げの推進
- ④ 放射性廃棄物処分場の課題と原発の位置付け
- ⑤ 複合災害における避難経路の確立
- ⑥ 陸の孤島を回避する鉄道網の整備

柏盛クラブ



三宮直人



重野正毅

- ① 令和5(2023)年度予算の重要性
- ② 令和5(2023)年度施政方針
 - ・重点戦略「子どもを取り巻く環境の充実」
 - ・柏崎市の魅力

日本共産党柏崎市議員団



持田繁義

- ① 子どもを取り巻く環境の充実
- ② 大変革期を乗り越える産業イノベーションの推進
- ③ 新型コロナウイルス感染症「5類」移行への対応
- ④ 消費税のインボイス制度との関わり
- ⑤ 「困難な時代」とする認識

自治研究会



布施 学

- ① 令和5(2023)年度施政方針演説
- ② 危機感と市民意識
- ③ 重点戦略
- ④ 防災・生活・環境～「頼もしさ」をつなぐまちを目指すこと
- ⑤ 産業・雇用～「豊かさ」をつなぐまちを目指すこと

ほか

代表質問とは、市長の施政方針や令和5(2023)年度の市政執行の全般的なことについて、会派の代表者が市長に対して、その方針や考え方を質問するものです。

録画映像



質問項目



社会クラブ・柏崎のみらい連合



笠原晴彦



佐藤正典

- ① 施政方針における二つの重点戦略
- ② 総合計画の分野別施策

柏崎の風



阿部 基



柄沢 均

- ① 柏崎市の可能性
- ② 危機感の共有
- ③ 将来都市像
- ④ エネルギーのまち

公明党



若井恵子

- ① 令和5(2023)年度当初予算と柏崎市の展望
- ② 重点戦略「大変革期を乗り越える産業イノベーションの推進」
- ③ 自治経営と健全財政運営に向けた新たな財源確保



令和5(2023)年度予算案の審査について報告します

予算決算常任委員会（星野正仁委員長、持田繁義副委員長）において、3月6日の全体会で総括質疑を行いました。3月10日から17日に開催した分科会で詳細に審査し、3月22日の全体会で分科会長が審査の概要を報告しました。

総務分科会

■分科会長 阿部 基 ■副分科会長 布施 学
■委員 星野幸彦・三宮直人・飯塚寿之・佐藤和典・若井恵子・星野正仁

「市民生活の利便性」に注目して審査しました

審査のポイント

路線バス等確保事業、ごみ処理施設建設事業などを通じて、市民生活の利便性を確保する仕組みが整うか。

主な対象事業

- ・路線バス等確保事業
(1億7956万8000円)

主な質疑

- Q A I オンデマンド交通の乗降ポイントと結節ポイントは。
- A 乗降ポイントは、高齢者など利用者のニーズを踏まえて、医療機関やスーパーマーケットを想定している。結節ポイントは運行区域と郊外地域を結ぶ重要なものであり、駅

やコミセンを予定している。事業者とも協議を進め、夏頃をめどに決定したい。

主な対象事業

- ・ごみ処理施設建設事業(2271万3000円)

主な質疑

- Q 事業者選定アドバイザリー業務委託料の内容は。
- A 循環型社会を推進するために、効率的なエネルギー回収を可能とする施設整備を進めたい。実施方針と要求水準書(案)の作成、施設整備に係る費用対効果分析、事業者募集書類の作成など多岐にわたる業務を委託する予定であり、コンサルタントの専門的な知見を活用する。

文教厚生分科会

■分科会長 重野正毅 ■副分科会長 白川正志
■委員 笠原晴彦・近藤由香里・樋口良子・荒城彦一・上森 茜・春川敏浩

「子どもを取り巻く環境の充実」に注目して審査しました

審査のポイント

子育て支援策の目玉的事業ともいえるが、子育て世帯のニーズに合致し「子どもを取り巻く環境の充実」に資する予算編成となっているか。

主な質疑

- Q 10月から実施する1・2歳児を対象とした保育料無料化(給食費を除く)について、事業の展望と今後の課題は。
- A 1・2歳児の保育料無料化を実施することで、子育て世帯への支援策として大きな一歩を踏み出す。令和6(2024)年度以降

も継続して実施するため、その財源については、全庁的な事業の見直しにより確保していく。また、今回無料化の対象とならない認可外保育施設などを利用している家庭に対しては、それぞれの事情に対応した子育て支援策を継続して実施していく。





委員会の録画映像は **YouTube** で
見ることができます



審査結果

産業建設分科会

■分科会長 山本博文 ■副分科会長 田邊優香
■委員 村田幸多朗・秋間一英・持田繁義・佐藤正典・相澤宗一・柄沢 均

「新規事業」に注目して審査しました

審査のポイント

新規事業を中心に詳細を確認。

主な対象事業

- 育児休業取得促進事業（200万円）

主な質疑

- Q 事業内容や男性育児休業取得率は。
- A 育児休業を取得した男性従業員へ奨励金を交付するもの。小規模事業者にも3日以上で3万円の特別枠を設ける。4年前のアンケート調査による取得率は7.9%。

主な対象事業

- 旧米山牧場廃タイヤ処分仮設道路整備事業（2000万円）

主な質疑

- Q 仮設道路の詳細、住民への周知方法は。

- A 砕石を使い既設道路1.1kmを復元する。地元住民はいないが、畑作業などで通う方へ周知する予定である。

主な対象事業

- 道の駅風の丘米山整備事業（5307万2000円）

主な質疑

- Q 事業詳細と市民理解を得る方法は。
- A 休止中の既存部分（丘側）のほか、新たに道の駅に編入する国道側エリアを市が用地取得し、道の駅として再整備する。議会へも適宜説明し、意見をいただく中で令和9（2027）年度開業に向けて事業を進めたい。

私たちは



賛成 × 反対 しました

議員の賛否状況



議員賛否一覧（2月定例会議の採決において賛否が分かれた議案など）

議決日	議案	布施学	村田幸多朗	笠原晴彦	秋間一英	星野幸彦	重野正毅	三宮直人	近藤由香里	田邊優香	白川正志	山本博文	持田繁義	樋口良子	佐藤正典	飯塚寿之	荒城彦一	相澤宗一	佐藤和典	若井恵子	柄沢均	上森茜	春川敏浩	星野正仁	阿部基	真貝維義	
3月23日	令和5（2023）年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
3月23日	消費税インボイス制度の実施延期を求める意見書（案）	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-

○は賛成

×は反対

真貝維義議長は採決に加わりません。



録画映像

私たちはこのような理由で

賛成しました



反対しました

日本共産党柏崎市議員団

財政運営、行政機構、市長の政治姿勢に問題があり反対する。給食費の値上げは子育て支援に逆行。保育園運営事業の人件費に電源立地地域対策交付金を充てることは疑問だ。有害鳥獣対策の環境課への所管替えは問題。西山・高柳両町の事務所長兼務は合併地域の軽視。「原発も再エネも大事」との姿勢は原発回帰の岸田政権への追随だ。市長が柏崎あい・あーるエナジーの社長であるのは問題だ。



持田繁義

反対

柏崎の風

第五次総合計画後期基本計画の重点戦略の「子どもを取り巻く環境の充実」および「大変革期を乗り越える産業イノベーションの推進」について、強く進める意思が予算編成に表れていた。人口減少、少子高齢化が急速に進む影響への支援、著しく変化する産業界への支援、将来にわたり持続可能なまちづくりを目指した支援などとともに、物価高騰を考慮した予算編成であると判断し、賛成する。



阿部 基

賛成

民 友

- ①若者や働く者への支援策を高く評価。「働く人を応援するまち柏崎」をアピールし、地域の活力を担う人材育成につなげていただきたい。
- ②世界潮流はカーボンニュートラル、その付加価値は柏崎市が他より一歩前になる強みになる。多くの市民と共有できるよう強く働きかけられたい。
- ③事業策定を決算ベースに見直すことは健全財政に向けた大きなポイントとなる。



相澤宗一

賛成

無 会 派

「景気・経済と人材育成に資するか否か」の2点に絞って討論する。1点目、今日の本市の景気・経済は大変厳しい。だが、予算は縮小予算である。今は予算規模拡大が必要であり、それが市民生活を守る方策である。2点目の人材育成は学校の先生の力に負うところが大きい。子どもは無限の可能性がある。その可能性が花開く時、柏崎の可能性も花開く。柏崎の可能性は学校現場にある。



荒城彦一

賛成

社会クラブ・柏崎のみらい連合

「子どもを取り巻く環境の充実」については、他自治体に先駆け、さまざまな事業を行っていることを評価する。国・県の事業をうまく利用し、柏崎市独自の施策を、その時だけでなく持続的に進められるよう今後も期待する。原発政策については、実効性のある避難計画の策定と原発に頼らない市政を目指し、厳しい姿勢で臨み、多様な意見をくみ取り、市民が納得できるようにするべきである。



笠原晴彦

賛成

令和元(2019)年5月からの4年間を振り返って

～3つの諮問委員会が進めた改革の取り組み～

柏崎市議会が取り組む議会改革には、議長の諮問委員会で調査研究を進めるものが多数あります。この4年間に設置した諮問委員会と関連する改革は、次の通りです。

予算・決算審査等にかかわる 調査研究委員会

委員長：佐藤和典 副委員長：持田繁義
委員：重野正毅 笠原晴彦 村田幸多朗 近藤由香里
飯塚寿之 若井恵子 春川敏浩

R元(2019)年12月～R3(2021)年3月(全13回)

- 予算決算常任委員会の設置

設置しました



ICT推進委員会

委員長：三宮直人 副委員長：星野幸彦
委員：田邊優香 白川正志 布施 学 近藤由香里

R2(2020)年5月～R2(2020)年12月(全9回)

- 会議のペーパーレス化の導入
- ホームページのリニューアル
- オンライン会議の導入

市議会トップ



議会改革に関する調査研究委員会

委員長：近藤由香里 副委員長：秋間一英
委員：星野幸彦 田邊優香 白川正志 山本博文
樋口良子

R3(2021)年12月～R5(2023)年1月(全20回)

- 「請願・陳情の手引」の作成
- 「発言に関する調査研究報告書」の取りまとめ

請願・陳情



議会のチェック機能の強化、DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進、市民に開かれた議会の視点から、各諮問委員会を設置し、調査・研究を行っていただきました。その結果、県内では初の予算決算常任委員会の設置、ペーパーレス議会と委員会のオンライン開催の導入を実現することができました。また、陳情も請願と同じように審査することにしました。

柏崎市議会は、早稲田大学マニフェスト研究所が行った「議会改革度調査2022」において全国1788議会中、第47位(県内2位)となりました。今後も市民に開かれた議会を目指して改革を進めてまいります。



第45・46期議長

眞貝 維義



こんなことが 決まりました

2月定例会議 議案審議

Pick up

1

A I オンデマンド交通の運行が始まります

◎路線バス等確保事業

1億7956万8000円

[令和5(2023)年度一般会計予算]

A I オンデマンド交通とは、A I (人工知能) を活用した事前予約制の乗合交通であり、市中心部において、令和5(2023)年度後半に実証運行が開始される予定です。運行区域内にきめ細かく乗降ポイントを設置し、予約に応じてA I を活用した効率的なルート設定が行われます。また、郊外地域とは、鉄道や路線バスなど既存の公共交通により結ばれます。

なお、A I オンデマンド交通に係る予算額は、約6200万円です。



資料：国土交通省（一部改）

Pick up

2

小学校スタッフの充実が図られます

◎スクール・サポート・スタッフ配置事業

502万3000円

[令和5(2023)年度一般会計予算]

教員がより児童への指導や教材研究に力を注げるように、学習プリントの印刷や授業準備の補助を担うスクール・サポート・スタッフを、国・県の補助を受けて市が配置します。令和5(2023)年度は、柏崎小学校、比角小学校、剣野小学校、田尻小学校に1人ずつ配置されました。

Pick up

3

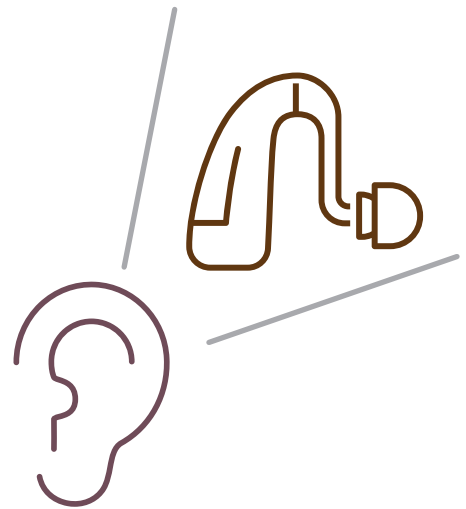
障害者手帳がなくても補聴器の購入に助成が受けられます

- ◎軽・中等度難聴者補聴器購入費助成事業（介護高齢課） 230万6000円
- ◎軽・中等度難聴者補聴器購入費助成事業（福祉課） 20万円

[令和5（2023）年度一般会計予算]

身体障害者手帳の交付対象とならない軽・中等度の難聴のある方が補聴器を購入するときに、助成が受けられます。これまで18歳未満の方を対象とした事業は実施されていましたが、令和5（2023）年度から18歳以上の方を対象とした事業が新たに加わりました。

聞こえにくさによる日常生活の不便さを解消するとともに、早めに補聴器を使用することで認知症やうつ病、ひきこもりなどを予防する効果が期待されます。



Pick up

4

がん患者の社会参加を支援する制度ができました

- ◎がん患者医療用補整具購入費助成事業 120万7000円

[令和5（2023）年度一般会計予算]

がんの治療に伴う外見の変化の悩みなどを軽減し、社会参加の推進を支援するとともに、経済的負担を軽減することを目的に、医療用ウィッグ、乳房補整具を購入する費用の一部を助成する制度ができました。

がん患者が医療用補整具などを購入したときに、2万円を上限に費用の2分の1の助成が受けられます。



議決した議案



令和5(2023)年2月定例会議常任委員会での審査について 報告します

総務常任委員会

■委員長 阿部 基 ■副委員長 布施 学
■委員 星野幸彦・三宮直人・飯塚寿之・佐藤和典・若井恵子・星野正仁

1件の議案と1件の請願を審査しました。質疑はありませんでした。

- 職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例

条例の概要

職員の失職の例外に関する事項（職員が職務遂行中の過失による事故または通勤途上における過失による交通事故により、禁錮以上の刑に処

せられた場合であっても、その刑の執行を猶予され、かつ、その情状を考慮できる場合においては、失職しないものとする）などの追加。

文教厚生常任委員会

■委員長 重野正毅 ■副委員長 白川正志
■委員 笠原晴彦・近藤由香里・樋口良子・荒城彦一・上森 茜・春川敏浩

4件の議案を審査しました。質疑はありませんでした。

- 高齢者用冬期共同住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

条例の概要

利用者の減少による高齢者用冬期共同住宅「ひだまり」を休止するための条例改正。

- 西山町いきいきデイサービスセンター設置及び管理に関する条例を廃止する条例

条例の概要

利用者の減少により休止している西山町いきいきデイサービスセンターの廃止に伴う条例廃止。

産業建設常任委員会

■委員長 山本博文 ■副委員長 田邊優香
■委員 村田幸多朗・秋間一英・持田繁義・佐藤正典・相澤宗一・柄沢 均

3件の議案を審査しました。

- 財産の無償貸付けについて（土地並びに温泉権及び機械装置等）

議案の概要

契約期間満了となる旧潮風温泉の建物敷地、駐車場、温泉権および機械装置などの無償貸し付けについて、契約を1年間延長するもの。

主な質疑


- Q 維持管理方法は。
- A 契約条件に施設の維持管理を盛り込んでお

り、今後も民間事業者が定期的に巡回し、しっかりと管理を行う。

Q 今後の見通しは。

- A 令和5（2023）年度1年間の契約期間の中で売却に向けた動向を注視し、民間事業者と情報共有を図りながら1～2年で方向性を示したい。



 委員会の録画映像は **YouTube** で
見ることができます



審査結果

予算決算常任委員会

■委員長 星野 正仁 ■副委員長 持田 繁義

※分科会長・副分科会長・委員は、各常任委員会の委員長・副委員長・委員と同じ。

令和4(2022)年度一般会計補正予算(第20号)など、8件の議案について
審査しました。

※新年度予算案を除く。

総務分科会

令和4(2022)年度一般会計補正予算(第20号)

・放射線防護施設整備事業 (3億9119万1000円)

補正の概要

中通コミセンにおいて放射線防護工事を行う。
事業期間を確保できないため、次年度へ繰り越す。

主な質疑

Q 工事の内容は。

A 集会棟と体育館の建物陽圧化、気密性の確保、非常用発電施設の設置や必要な資機材の整備を行う。フィルタユニットを設置し、

フィルタで放射性物質を除去した空気を送り込み、陽圧化する。気密性を確保するために、サッシなどを気密化する。また、停電に備えて非常用発電機を設置する。

Q 放射線の防護力は。

A 内閣府の資料によると、放射線源から2.5km離れた地点において、陽圧化した鉄筋コンクリート施設では、被ばく線量が屋外より92%低減される。

文教厚生分科会

令和4(2022)年度一般会計補正予算(第20号)

・保育園運営事業(備品)(36万円)

補正の概要

北条保育園送迎用バス2台に置きざり防止の安全装置を設置する。事業期間を確保できないため、次年度へ繰り越す。

主な質疑

Q 装置の詳細と設置時期は。

A SOSボタンを園児が押すような装置。4月中には設置したい。

Q 保育園としての活用の在り方は。

A 園児の使用訓練も行うが、置きざりがないよう人によるチェックが第一である。この装置はあくまでも補助としての設置である。市と園の連携を一層深めていく。

産業建設分科会

令和4(2022)年度一般会計補正予算(第20号)

・農業農村整備県営事業負担金 (6821万7000円)

補正の概要

農業農村振興を図る事業負担金の確定による増額。

主な質疑

Q ほ場整備は計画どおりか、整備率は。

A 計画どおり。整備率は令和2(2020)年度末で54.1%、年率1%の進捗である。

・原油価格・物価高騰等緊急対策事業 (▲5092万6000円)

補正の概要

市内企業への緊急支援対策事業の事業費確定による減額。


Q 減額理由は。

A 市内2600社へ周知したが、交付実績は1574件となり、予算額との差額分を減額する。



一般質問とは

皆さんの暮らしに関わる大切なことについて、議員が市に対して質問する場です。あなたはどんなことに興味がありますか？

質問項目 



災害対策



近藤 由香里

Q 災害に備え、防災拠点の停電対策をどう強化するか

A プラグインハイブリッド車導入や大型蓄電池の整備などを進めたい

質問 令和4年12月の大規模停電を教訓に、防災拠点（優先開設避難所）となる公共施設の停電対策をどう強化するか。

回答 県から貸与されているポータブル蓄電池を配備する他、既設蓄電池の活用や、移動して電源供給できるプラグインハイブリッド車の導入・利用の研究、国の補助事業を活用しての大型蓄電池整備を進めたい。

他の質問 人口減少時代の市政運営



動画でチェック

リスク管理



重野 正毅

Q さまざまな危機を想定した、市としてのリスク管理は

A 危機に際し、市民が何に困り、何を求めているかに気づく想像力は必須

質問 危機を回避するための具体的で組織的な動きは整えられているのか。

回答 組織体制としては危機管理部の総括の下、事案ごとに主管部局を決め、全庁態勢で対処していくことになっている。最悪の事態を想定した上でリスクを洗い出し、リスクアセスメントを行い、想定外をなくし、危機状態に陥らないようにする。

他の質問 時代に即した教育の在り方



動画でチェック

豪雪



春川 敏浩

Q 豪雪による倒木被害への補助制度創設を

A 倒木は所有者が撤去するのが原則。条件により農地は50%補助ができる

質問 豪雪による倒木処理が容易ではない。重機の入らない軟弱な現場、手作業の現場などさまざまであり、農業関係者は補助制度の創設を望んでいる。

回答 農道や田畑の倒木撤去費用について、条件に合えば農地で50%、農業施設で75%の補助を行う。補助の詳細については農林水産課に相談いただきたい。

他の質問 柏崎市墓園における市民ニーズをどう捉えるか ほか



動画でチェック

エネルギー



Q 地域エネルギー会社の事業目的と方向性を聞く

A 地域エネルギー会社の目的は脱炭素エネルギーの利活用と安定供給にある

質問 人類はまだ「原子力は安全か否か」の答えを見いだしていない。会社の事業目的にそれに関する研究部署を加え、原子力の真実を追求する考えはないか。

回答 地域エネルギー会社は産業競争力強化や市民生活向上を目指して、脱炭素エネルギーの利活用促進のために設立した。事業活動を通して電気を安定供給していきたい。

他の質問 地方自治の基本原則と要諦、柏崎の教育と人づくり ほか



動画でチェック

地域福祉



Q 共生社会の実現、市の包括的支援体制の構築を

A 柏崎らしい地域共生社会の実現に向け、包括的な支援体制を整備する

質問 地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の構築、人材育成、新たな事業の工程と課題をどう考えるか。

回答 課題が複雑化する中、多機関協働事業をさらに深め、参加支援や地域づくり事業にも取り組み、人と人、人と地域をつなぐ地域共生社会の実現に向けて包括的な支援体制の整備に取り組む。

他の質問 頼りになる自治体と人材育成、矛盾なき市政運営を目指して ほか



動画でチェック

地籍調査



Q リモートセンシング技術の活用を

A 導入自治体の調査、研究を行い、効率的な手法の一つとして検討を進める

質問 地籍調査は総事業費約234億円で数百年の期間を要する。リモートセンシング技術の活用で時間と経費を削減し、県や森林組合と基本調査データを共有してはどうか。

回答 今後、さらに土地所有者の高齢化や不在地主の増加が進み、測量が困難になると予測されるため、費用対効果の検証を行い、手法の一つとして検討する。

他の質問 中学校の部活動 ほか



動画でチェック

学区再編



Q 学区再編方針における令和8年4月の統合計画への対応

A できる限り学区等審議会、保護者や地域からの要望を踏まえた対応をしていく

質問 令和8年の小学校統合計画（剣野・鯨波・米山、日吉・中通）への対応は。

回答 統合の時期や組み合わせは、教育委員会が最良であると判断して示したものであるが、地域や学区等審議会からの意見を踏まえ、変更することもあり得る。子どもたちにとって望ましい教育環境を提供するため、総合的に判断していく。

他の質問 柏崎刈羽原子力発電所の懸念すべき問題点 ほか



動画でチェック

学区再編



Q 地域の核として学校を残すとの考えに立てないのか

A 望ましい教育環境の要素の一つが児童生徒数であり、そのための統合は必要

質問 学校は地域の核となる施設。適正規模の考え方だけでなく、できるだけ地域に残すべき。

回答 ある程度の児童生徒数を確保するための統合は必要である。高柳地域の核となる施設は学校だけではなく、今後も地元の自然・伝統文化などを生かし、コミュニティを引き継ぐ人材を育てていただきたい。

他の質問 小規模特認校の検討も必要ではないか
ほか



動画でチェック

学校教育



Q 持続可能な社会の創り手が育つ授業となっているか

A より多くの職業の選択肢の中から自分の夢をつかみ、幸福な人生を送る成長へ

質問 個別最適と協働的な学びは持続可能な社会の創り手への育ちになっているか。

回答 「柏崎ステップアップ学びプラン」の目的である、より多くの職業の選択肢の中から自分の夢をつかみ幸福な人生を送ることは、持続可能な社会の創り手となる意味も込められている。今後も児童・生徒の成長をしっかりと見据えた教育を進めていく。

他の質問 未来をつくるウェルビーイング都市経営
ほか



動画でチェック

原発



Q 市長公約『徐々に確実に原発を減らす』は守られるのか

A 公約は守る。以前からこれまで考えは一切変わっていない

質問 運転期間延長・建て替え・新增設の方針は国の原発回帰ともいえる。公約の通り柏崎刈羽原発を減らしていきけるのか。

回答 当面の間、原発の価値や優位性は認めるが、利用は制約的であるべきであり、柏崎刈羽原発ではリプレース（建て替え）や新增設は考えられない。徐々に確実に原発を減らすという考えに変わりはない。

他の質問 原発の安全基準に対する認識
ほか



動画でチェック

観光



Q 道の駅「風の丘米山」再整備の地元経済への効果は

A 商業施設の経営には立ち入れない。まずは民間同士のビジネス活動に委ねたい

質問 道の駅の経済効果は取り組み方で10億円とも言われており、再整備に向けて地元関係者も期待している。再整備による地元経済効果の考えを伺う。

回答 新たな商業施設で地場製品の販売や活用が想定されるが、あくまで民間事業者の経営の範囲なので立ち入れない。まずは、民間同士のビジネス活動に委ねたい。

他の質問 リユース推進事業として自治体メルカリの導入の考え
ほか



動画でチェック

防災



持田 繁義

Q ゲリラ豪雪の教訓を生かし、情報発信の改善を

A 国道監視カメラの増設などを要請し、適時適切な情報発信に当たる

質問 降雪・道路・停電などの状況がリアルタイムで伝わってこなかった。関係機関との連携や情報発信の在り方について、今回の事例を教訓とした改善の方向性を伺う。

回答 できる限り情報の取得に努めたが、十分な情報提供ができなかった。国道の監視カメラ増設など関係機関に協力を求め、適時適切な災害時の情報発信に当たりたい。

他の質問 柏崎市のまちづくりと原子力発電所の関わり



動画でチェック

大雪対策



三宮 直人

Q 国・県と連携した樹木の事前伐採が必要だ

A 大規模な事前伐採は市レベルでは困難。国や県を巻き込み取り組む課題だ

質問 三重県では県・市町村・電力会社が連携し令和2年度から大規模な事前伐採を実施している。大雪対策として、国・県に事前伐採を求めていく考えはないか。

回答 市道沿いだけでは効果が限定的である。柏崎市や佐渡市の被害状況や三重県などの事例を新潟県や市長会に紹介し、国や県に要望していきたい。

他の質問 柏崎市における空き家対策



動画でチェック

除雪経費



布施 学

Q 原発立地自治体の道路除雪経費は全て国費で

A 除雪費の財政支援などを国に強く訴えていく

質問 原子力災害時の避難路の除雪経費は、市道や第三種道路などを含めて国費で賄われるべきと考えるが、市の見解を伺う。

回答 昨年12月の大雪で、降雪時避難の課題が浮き彫りとなった。原子力発電所立地自治体における除雪費の財政支援や課題解決に向けた取り組みを早期かつ確実に進めるよう強く訴えていく。

他の質問 メタバース、稲作の肥料高騰対策ほか



動画でチェック

女性の健康



若井 恵子

Q 女性の命を守る子宮頸がんワクチンの積極的勧奨を

A 積極的勧奨を行い、予防効果が高い9価HPVワクチン接種に向けて対応する

質問 令和5年4月から予防効果が高い9価HPVワクチンの定期接種が決定した。子宮頸がんに対する市の取り組みを伺う。

回答 積極的勧奨再開後の接種率は1割程度と低迷しており、9価HPVワクチン接種の実施に向けて医師会と協議中である。最新の情報提供を行うとともに、若い女性に対し、がん検診の重要性の周知に取り組む。

他の質問 市民に信頼される行政経営を職員の人材育成ほか



動画でチェック

ギカイのうごき

CHECK!

1

柏崎刈羽原子力発電所にかかわる 調査特別委員会が最終報告

特別委員会



柏崎刈羽原子力発電所にかかわる調査特別委員会（柄沢均委員長、笠原晴彦副委員長）では、3つの部会での活動や、委員会全体での研修・視察などを行ってきました。令和元（2019）年9月から3年6カ月にわたる活動の概要や調査事項に関する課題などを報告書にまとめ、3月23日の本会議において報告しました。



議場で報告する柄沢委員長

委員会としての課題

GX（グリーントランスフォーメーション）実現に向けた基本方針など国の動きを踏まえ、脱炭素社会の実現、エネルギー安全保障および電力の安定供給の観点から調査研究を深め、立地自治体として原子力発電所をどのように捉えるべきか、また、立地地域である柏崎市が今後果たすべき役割は何かをより活発に議論する必要がある。

また、市民の安全安心、地域経済や雇用、持続可能なまちづくりの観点から、引き続き調査研究に取り組み、その結果を国や県、市あるいは事業者への要望や提言としてまとめるなど、委員会活動の成果を市民に見える形にしていくことも必要と考える。



令和4（2022）年11月6日・7日に行った視察
（東京電力福島第一原子力発電所構内）

調査事項

【第一部会担当】

- ① 国・原子力規制庁・県・事業者の動向、検討内容、審査結果
- ② 使用済み核燃料にかかわる諸課題

【第二部会担当】

- ① 柏崎刈羽原子力発電所の安全対策
- ② 実効性ある避難計画
- ③ 放射線への正しい理解と対応

【第三部会担当】

- ① 原発と地域経済、今後の行財政とまちづくり
- ② 原子力発電所の廃止措置（廃炉）にかかわる諸課題

CHECK!

2

議会基本条例を検証

～2年ごとに検証し、結果を公開しています～

基本条例の
検証



平成26（2014）年の条例制定から、2年ごとに検証を行っています。議会基本条例に規定している議会の運営原則の達成度について、21項目を4段階で評価しました。

議会運営委員会でもとめたところ、A評価とB評価が合わせて20項目となり、おおむね達成できているといえる結果になりました。なお、D評価の項目はありませんでした。

全ての検証項目と結果は、市議会ホームページでご覧いただけます。

評価基準	A できている（そのまま推進する）
	B できている（ただし、改善が必要）
	C できていない（分析と見直しが必要）
	D できていない（条例改正が必要）

CHECK!

3

度重なる豪雪に対応

～大雪対応への意見・要望を市に提出しました～

対策支援本部



1月24日から2月6日にかけて、今シーズン2度目となる豪雪災害対策支援本部を設置しました。

また、昨年12月の豪雪における被害状況や行政・関係機関などの対応を踏まえ、市議会として大雪対応に関する意見・要望を取りまとめて市に提出しました。



左から柄沢副議長、真貝議長、西巻副市長
（1月30日、副市長室）

CHECK!

4

原子力発電所の取り組みなどを東京電力が説明

～議会全員協議会を開催しました～

録画映像



地域住民への説明会開催に先立ち、一連の不適切事案を踏まえた柏崎刈羽原子力発電所の取り組み状況や原子力改革の進捗状況について、1月30日の議会全員協議会において東京電力ホールディングスから説明を受けました。



説明を行う福田原子力・立地本部長（議場）

6月

定例会議の予定



変更の場合はホームページでお知らせします。本会議は午前10時に開会します。

日	月	火	水	木	金	土
6/4	5	6	7	8	9	10
	本会議 議案説明・質疑・付託	委員会・分科会 産業建設・文教厚生・総務 (議案補足説明)	委員協議会・作業部会 産業建設・文教厚生・総務 (論点整理)	本会議 一般質問	本会議 一般質問	
11	12	13	14	15	16	17
	本会議 (一般質問・予備日)	委員会・分科会 産業建設	委員会・分科会 文教厚生	委員会・分科会 総務	(委員会・予備日)	
18	19	20	21	22	23	24
	委員会 予算決算	本会議 委員長報告・採決				

市議会議員の改選のため、変更する場合があります。
本会議・委員会は、インターネット中継でご覧いただけます。録画映像と会議録も公開しています。



議会日程



会議録・
中継・傍聴



■柏崎市議会議員は、4月30日に任期満了を迎えました

令和5(2023)年5月1日に就任した議員の顔ぶれは、ギカイのとびら次号と市議会ホームページで紹介します。

■点字訳・音声訳のギカイのとびらがあります

申し込みは市役所1階福祉課へ。

TEL 0257-21-2299

FAX 0257-21-1315

点訳・音訳



編集後記

紺碧の空に薫風さわやかな季節になりました。4月に改選を迎え、議会も新たなメンバーになり、今期より22名の議員が市民の負託を受けて議会活動をスタートしました。広報広聴活動は市民の皆さまから議会活動を理解していただき、さらに市民の声を反映できる

よう、努力を重ねていく必要があります。現在のメンバーでの編集は今号で最後ですが、これからも進化していく「ギカイのとびら」になることをご期待ください。

議会広報広聴常任委員
若井 恵子

次回発行は8月5日
お楽しみに

柏崎市議会

Q検索

議会広報広聴常任委員会

委員長 三宮直人
副委員長 星野幸彦
委員
布施 学 重野正毅 田邊優香
白川正志 樋口良子 相澤宗一
若井恵子 阿部 基